

令和元年度「長崎地区ふるさと愛護推進協議会」総会開催

11月22日(金)に「長崎地区ふるさと愛護推進協議会」総会が開催され、現在登録されている190団体のうち、22団体(32名)にご参加いただきました。



【高松会長挨拶】

これからのボランティア活動における高齢化対策は、地域の自治会・企業・学生をはじめ、多様な団体が協力関係を築き、皆で力を合わせ活動に取り組んでいくことが大切です。と心強い宣言をされました。



【建設部長挨拶】



【総会の様子】

建設部長の挨拶のあと、副会長の指名についての協議がありました。

平成29年から富工さんに副会長を務めていただき任期の2年が経過したので、協議会規約第5条3項により、今年度が副会長の指名となります。高松会長が富工さんを指名したので再任の協議をしたところ、会員の皆様からも盛大な拍手でご承認いただきました。また、昨年の総会より副会長が二人体制となり、より一層の情報交換に努めていくことに決まりました。



【表彰団体事例発表】

NPOながさき千本桜・(公財)日本花の会 長崎支部



【講話】

長崎大学「やってみゅーでスク」
西田 憲司 氏

「自分のためのボランティアの
ススメ！」

時折クイズを交えたりと飽きさせない貴重で有意義な講話でした。

【懇談会】

懇談会には、団体の方18名、事務局、県職員13名、合わせて31名が参加して行われました。今回で4回目の懇談会となりましたが、和やかな雰囲気の中、今後もさらに活動に励んでいくことを、各団体が語り合いました。